

フクロウとカラス

むかしむかし、フクロウは染物屋で、多くの鳥にたのまれて、
いろいろな服を染めるのが仕事でした。そのころカラスはど
5 てもおしゃれで、いつもきれいな白い服を着ていました。

ある日、そのカラスがフクロウのうちにきて、「私の服を
世界で一番珍しい色に染めてください」と注文しました。

でもフクロウはいつもおしゃれなカラスが、あまり好きでは
ありませんでした。だからフクロウはその注文を聞いて、カ
10 ラスの服を炭のような黒い色に染めて、「これが世界で一番
珍しい色ですよ。カラスさん」と言いました。カラスはどて
も腹を立てましたが、もうどうすることもできませんでした。

この時から、カラスはフクロウが大きらいになりました。
フクロウを見ればいつも怒ります。だからフクロウは、カラ
15 スが起きている時間は外に出てこないで、いつも森の中に隠
れているのです。

染物屋=Färberei

染める=färben

5 おしゃれな=geckenhaf, schick, modisch

10 etw1 のような etw2=etw2 wie etw1

腹を立てる=sich ärgern; どうすることもできません=man kann
nichts machen

